

一級自動車工学科・自動車整備科 2026年度 授業計画

時期	1年C巡	単元	実習	教科名	1C_車体電装1	
科目	自動車整備作業	教科書等 持参品	自動車整備士三級（総合） 実習ノート		発行日	2026.4.1
総時限	23時限		日産4級整備士電装テキスト		教科 担当	安生
総時間	36.8時間					内川
単位数	1					

1. 実務経験のある教員による授業科目 該当

自動車整備士として、電気装置整備の実務経験がある教員により電装品の点検、測定、故障診断等について指導する。

2. 教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）

- ①自動車の電装品（灯火、信号系統、安全装置）の構造、機能を理解する。
- ②自動車の電気回路図、配線図、偽装図を理解する。
- ③自動車の電装品（灯火、信号系統、）の点検が出来る。
- ④自動車の電装品（灯火、信号系統、）の故障診断が出来る。

3. 授業の到達目標（何を理解し何が出来るようになるのか）

- ①自動車の電装品（灯火、信号系統、安全装置）の構造、機能が理解出来るようになる。
- ②自動車の電気回路図、配線図、偽装図を理解し、回路図を抜き出せるようになる。
- ③自動車の電装品（灯火、信号系統）の回路の電圧分布が分かるようになる。
- ④自動車の電装品（灯火、信号系統）の点検が出来るようになる。
- ⑤自動車の電装品の故障診断が出来るようになる。
- ⑥電気回路の計算が出来るようになる。

4. 学習評価（期末試験での主な試験項目）

- ・学科履修試験で評価する。学科履修試験は80分間で実施する。
○×、選択肢、記述により100点満点で評価する
- ・合格点：60点以上
80点以上：優 60点以上：良（一級工学科70点以上） 60点未満：不可（一級工学科70点未満）
- ・不合格の場合、再試験を受験し、60点以上で合格とみなす。（一級工学科70点以上）
再試験合格の場合、得点に関わらず評価は「可」とする。
- ・再試験不合格の場合、学校長の権限により教科判定試験を実施し、合格とみなす場合がある。

5. 準備学習

事前に次回の授業内容範囲を予習して、実習ノートを読んでおき、授業内容や質問事項等を学習する。
実習ノートをもとにテキストを用い、自動車各部の構成装置の名称、役割、目的を事前に調べてまとめておく。
電気計測の実習ノートを基に電装品（灯火信号系統）の構造、機能、故障診断を確認し復習する。

6. 学修時間と単位

本科目は、1単位あたり45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準としている。
1単位の修得に必要な学修時間の目安は、30～45時間の授業および授業時間外学修（予習・復習など）15～0時間である。

